

## 薬剤部 DI ニュース

### お薬の保管方法について

薬剤部でお渡ししているお薬は、医師の処方にしたがって用いることが定められている医療用医薬品です。今回はお薬の保管方法についてお話いたします。

お薬は保管状態が悪いと変化を受けやすく効果に悪影響を及ぼすことがあります。もっとも注意することは、高温・多湿・直射日光 この3点を避けることです。特に梅雨時の保管には十分な注意が必要です。保管時、特に注意が必要なお薬には指示を薬袋に記載していますのでしたがって下さい。幼児のいる家庭では誤って飲まないようにお薬の置き場所に気を付けてください。残ったお薬は、変質等を考慮して原則として服用または使用しないでください。効果を十分に発揮させ安全に服用するためにはお薬に適した保管をすることが大切です。

#### <保管時の注意事項>

##### 散剤・錠剤・カプセル剤

多湿の梅雨時には散剤・錠剤・カプセル剤は水分を吸収して変化を起こしやすいので、できるだけフタの閉まる缶等に乾燥剤を入れて保管してください。

##### シロップ剤

気温の高い時期には、シロップ剤はできるだけ冷蔵庫など冷暗所に保管してください。凍結させるとお薬が変化するものがありますので冷凍庫での保管は避けましょう。カップ、薬びんの口は常に清潔に保ちましょう。

##### 点眼薬

「冷蔵庫など冷暗所に保管してください」とあるものは指示にしたがってください。遮光袋が添付されているものは遮光の必要があります。遮光袋に入れ保管してください。開封した点眼薬の使用期限は特に指示のない場合、約1カ月です。

##### 坐薬

気温の高い時期には坐薬は溶けやすいので挿入部を下にして冷暗所に保管して下さい。一度溶けてしまった坐薬は、原則として使用しないでください。

##### インスリン注射薬

インスリン注射薬は凍結を避け冷蔵庫など冷暗所に保管してください。ただし、使用中のペン型インスリン注射薬は結露を避けるため冷蔵庫に入れしないで下さいインスリン注射薬の携帯時はなるべく温度が上がらないように注意しましょう。